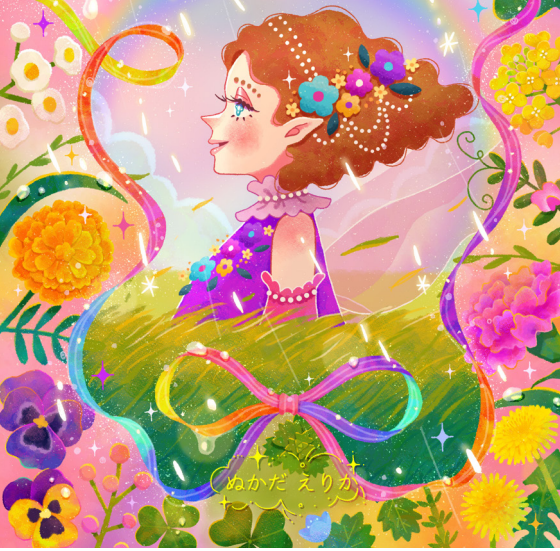


ふたごの星 と妖精



ぬかだ えりか





ぬかだ えりか

くらやみ
暗闇のなか ひとりぼっちで
な
泣いている 女おんなの子がいました

ひとみ
瞳からは 大粒おおつぶの涙なみだが
ぼろぼろポロポロ
とめどなくあふれつづ続けています

おんな
女の子の 心こころは 傷きずついて 苦くるしんで
とうとう ばらばらにくづ砕けてしまったのです





だいじょうぶ
「大丈夫？」

ふと 声がしました

女の子が顔をあげると
そこには可愛らしいお洋服を着た
小さな妖精さんがいました

女の子はびっくりして
妖精さんをつめます

それでも涙はぼろぼろポロポロ
あふれてとまらないのでした

妖精さんはそんな女の子を
優しいまなざしでじっとみつめます

ためしよみ

は

ここまでです